

第56回（令和2年）県民功労者表彰受章者

事 績 概 要

（注）受章者の年齢については、受章日（令和2年4月14日）現在で表記しています。

事 績 概 要

地方自治功勞

山本 勝

桑名市 75歳



氏は、平成十一年四月、地域住民の推挙により三重県議会議員に初当選して以来、平成三十一年四月まで、住民の信望を一身に集め、連続五期二十年の永きにわたり、県政の推進と県民福祉の向上に献身的な努力を重ねた。

この間、県土整備企業常任委員会委員長、観光・文化調査特別委員会委員長、防災生活振興常任委員会委員長等の要職を歴任し、入札・契約制度の見直しや新道路整備戦略等の推進、三重県観光振興プランや文化政策における長期戦略の取組、防災危機管理対策、雇用の安定や地域振興の推進等に多大な貢献をした。

さらに、平成二十五年五月、県議会議長に推挙されるや、翌年五月まで、議会の最高責任者として、卓越した識見と情熱をもって円滑な議会運営に尽力した。

このほか、四日市港管理組合議会議員、同和対策委員会委員、屋外広告物審議会委員、都市計画審議会委員、環境審議会委員に就任し、各分野での的確な指針と助言を与えた。

また、昭和五十四年五月から十九年余にわたり、桑名市議会議員として、市の発展に尽力した。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

文化功労

園田 幸男

津市 86歳



氏は、昭和三十一年四月以来、公立中学校教諭、県立高等学校教諭として勤務する傍ら、永きにわたり吹奏楽部顧問として部員生徒の指導に尽力し、県内音楽教育に貢献した。氏が指導に力を注いだ白子高校の吹奏楽部は県内有数の実力を持つ吹奏楽団に発展しており、全日本吹奏楽コンクール等の全国大会で優秀な成績を収めている。

このほか、三重県吹奏楽連盟に永年にわたって参画し、副理事長、副会長、会長を歴任、第三十回国民体育大会での式典音楽の充実に向けて県内の吹奏楽団体のレベルアップに尽力した。

また、第九回国民文化祭において「吹奏楽の祭典」部門企画委員会委員長を務めたほか、三重県文化賞や三銀ふるさと文化賞などの選考委員を歴任し、県内吹奏楽の発展及び県内文化の振興に貢献した。

さらに、昭和五十三年、若者に「生の音楽」を聴いてもらうことを目的として津コンサート協会を設立し、二十年間で七十七回ものコンサートを開催するなど、活動範囲の幅を広げながらも地元の音楽文化の振興に努めた。

このように、氏の芸術文化の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

福祉衛生功労

青木 重孝

桑名市 74歳



氏は、昭和六十一年四月より桑名医師会理事に就任以来、平成三十年九月まで三十二年余りの永きにわたり、医師会役員として指導的立場から会員の融和と団結を図り、新時代に対応する医師会活動の基盤確立に努めるとともに、医師会諸事業の遂行に献身的な活動を行った。

平成八年四月、三重県医師会理事に就任以降、現在の「医療ネットみえ」の基盤となる三重県救急医療情報システムの構築に奔走し、全国的ネットで広域災害に対応すると共にインターネット化を図り、平成十五年の開始・運用に導く等、救急医療体制の確立に寄与した。また、平成二十四年四月から平成三十年六月までの六年間余、三重県医師会会長として卓越した手腕を発揮して充実した医師会活動を推進し、県民の保健・医療・福祉の向上、発展に貢献した。平成二十五年三月の三重県保健医療計画（第五次改訂）では、県民の良質かつ適切な医療提供体制の確保に向けた計画の策定に尽力した。

さらに、桑名医師会理事、副会長として、看護婦（師）不足解消のため、桑名医師会立桑名看護専門学校を開校する等、桑名市の地域医療の推進に貢献した。

このように、氏の保健衛生の向上、発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功労

伊藤 恵子

津市 76歳



氏は、平成二十五年四月から三重県中小企業団体中央会の副会長を務め、数少ない女性経営者としての豊富な知識と経験を活かし、県内中小企業の組織化を推進して中小企業の経済的地位の向上に尽力し、中小企業及び中小企業連携組織の振興発展に寄与している。

また、平成十三年には、県内の女性経営者の斬新な英知と感性、パワーを結集した連携組織の必要性を提起、設立発起人として三重県中小企業レディース中央会の設立に尽力し、設立と同時に副会長に就任、広域的な連携交流を積極的に展開した。平成二十二年の会長就任後は、異業種女性団体の交流を目的とした「みえ・花しょうぶサミット」の発足や「レディース中央会全国フォーラム」の三重県開催に尽力し、女性の視点を活かした地域社会の活性化に寄与した。

さらに、伊藤印刷株式会社の代表取締役専務として、営業部門や印刷部門へ積極的に女性を登用するとともに、肩書や雇用形態にとらわれず、男女とも能力に応じた働き方ができるようワークライフバランスの推進を図り、障がい者雇用の促進にも取り組んでいる。

このように、氏の商工業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

農業功労

田中 利宣

亀山市 78歳



氏は、昭和三十六年に就農して以来、卓越した指導力と熱意により、地域の農業経営の近代化に寄与した。とりわけ、昭和四十六年からの亀山市における、県営農地開発事業による大規模茶園団地整備の実現に多大な貢献をしている。さらに、平成二十六年には三重県茶業会議所会頭に就任し、十五年ぶりに県内開催となった平成二十八年の全国お茶まつりを成功に導くなど、三重県の茶業振興に大きな功績を残している。また、昭和六十三年から平成十八年の間、三重県指導農業士として地域農業の振興や農業後継者の育成に尽力した。

平成十四年からは、鈴鹿農業協同組合代表理事組合長を務め、地域農業の発展に寄与するとともに、平成十七年からは三重県農業協同組合中央会会長として、本県農政を牽引し、国が戦後農政を見直すために導入した経営所得安定対策等の農政改革関連三対策をはじめ、重要施策の推進に尽力した。以降、JAグループ主要県連の要職を歴任し、相互扶助の精神のもと農業者の営農と生活を守り高める農業協同組合の活動において、農業経営、信用・共済、医療・保健・老人福祉などの幅広い分野でリーダーシップを発揮した。

このように、氏の農業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

林業功労

辻本 林義

名張市 79歳



氏は、昭和三十七年木材業に従事して以来、今日まで五十八年の永きにわたり、木材業界の組織強化、木材の需要拡大、後継者の育成など木材産業の振興発展に多大な貢献をした。

この間、名張木材協同組合理事長、伊賀プレカット協同組合理事長、三重県木材組合連合会会長、三重県木材協同組合連合会理事長等の要職に就き、県産材の需要拡大を図るため、県産認証材「三重の木」の普及推進、木材の良さの積極的なPR、木材乾燥の奨励、JASの認証取得の拡大等に努め、木材産業の基盤強化を図り、経営の安定化に尽力した。

また、木造住宅の建築を担う大工技能者の減少する中、建設工期の短縮と部材加工コストの低減を図るため、プレカット事業を積極的に展開し、地元雇用の拡大と人材育成等に尽力した。

さらに、林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部長として、木材業の労働災害の未然防止と労働安全衛生の向上に尽くした。

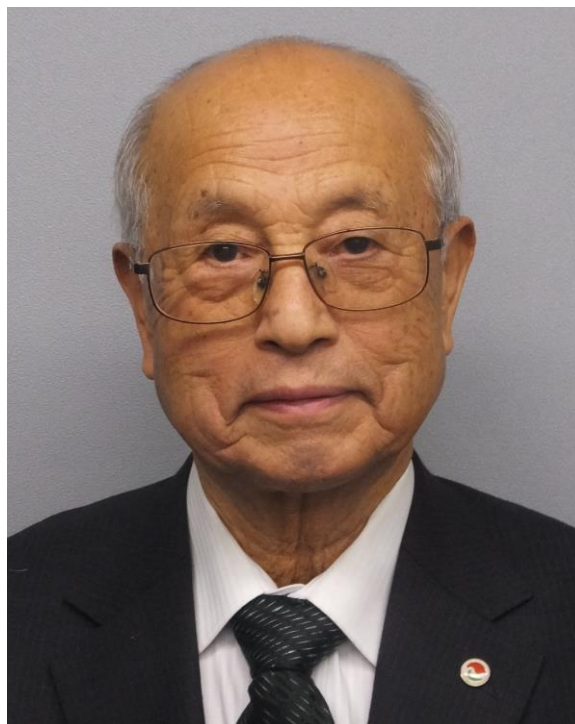
このように、氏の木材産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

地域活動功労

富永 巖

名張市 82歳



氏は、昭和五十六年から現在に至るまで、名張市防犯委員として、地域における防犯活動に積極的に参加するとともに、名張警察署・名張地区防犯協会と連携した広報啓発活動を展開し、地域社会全体の防犯意識の高揚に尽力している。

平成四年には名張地区職域防犯組合連合会会員となり、平成十年からは同連合会会長の職に就き、名張市内の職域における防犯活動に取り組んでいる。

特に年中行事の夏祭りや花火大会、地区の催し等に際しては、各種事故防止や青少年の非行防止のため、事前に関係機関と綿密な連携を実施するとともに、自身の識見と豊富な経験に基づき、会員に対する心温かい助言と指導を行うなど、組織を挙げて地域社会の安全確保に大きく貢献した。

平成二十三年からは、三重県職域防犯組合連絡協議会会長として、名張市内のみならず、県内の職域における防犯活動はもとより、青少年健全育成活動等の幅広い活動にも精力的に取り組んでいる。

さらに、三重県防犯協会連合会と名張地区防犯協会との連携を図り、自ら橋渡し役として、職域の枠を超えた防犯活動を実現させた。

このように、氏の地域活動に寄与した功績はまことに顕著である。